

# つら

兵庫の漁業人のための情報誌

TAKUSUI  
No. 622

8

August, 2008

発行 (財)兵庫県水産振興基金

## 7・28 国の緊急対策を引きだす! 燃油暴騰、我慢の限界!



漁業経営危機突破全国漁民大会 (7月15日・東京、日比谷)

ニュース◇

**7・15 漁業経営危機突破全国漁民大会に3600人!**

**史上初、全国漁船20万隻一斉休業!**

**燃油高騰水産業緊急対策に745億円!**

## 3600人が怒りの叫び!

# 7・15 漁業経営危機突破 全国漁民大会

この5年間で燃油価格は3倍に高騰し、漁業経営は採算割れで廃業寸前の状態に陥っています。この未曾有の危機に対処するため、既報のとおりJF全漁連、大日本水産会の呼びかけで、7月15日に全国から3600人を超える漁業者が東京・日比谷公園野外音楽堂に結集し、漁業経営危機突破全国漁民大会が開催されました。この大会には本県からも漁業代表73名が参加し、全国の仲間とともに、わが国漁業を存続させ水産食料の安定供給を図るため、燃油価格高騰に対する必要な補てん措置などを求める決議を採択。その後、「国は漁業を守れ!」「漁業者はもう限界を超えているぞ!」と、シュプレヒコールをあげながら霞ヶ関の官庁街をデモ行進し、窮状を訴えました。

また、街頭活動と並行して全漁連服部会長ほかの代表団は、町村内閣官房長官、額賀財務相、甘利経済産業相、若林農水相ほか要路に、大会で決議された要望事項の実現に向けた要請活動が展開されました。



JF全漁連 服部会長  
「漁業を存続させる緊急対策を!」

## 7・28 国の漁業者緊急支援策を引きだす!

※概要は4ページに記載



「国は漁業を守れ!」



意見表明する全国女性連 熊谷理事と  
女性国会議員団

### 燃油価格暴騰対策に関する決議

原油価格の暴騰により、全国の漁業・漁村は今まさに、息の根を止められようとしている。漁業者の自助努力はもはや限界を超え、出漁の断念や廃業者の発生など極めて深刻な事態にある。

このまま推移すれば、国民への水産食料の安定供給の責務を果たすことが出来なくなるばかりか、地域の経済・社会に重大な影響を及ぼすことが懸念される。

かかる緊急事態に鑑み、下記事項の実現を政府・国会に強く求めるものである。

記

1. わが国漁業を存続させ水産食料の安定供給を図るため燃油価格の高騰に対する必要な補てん措置を講ずること。
2. 経営存続のため、税制及び金融措置等における抜本的な対策を講ずること。
3. 投機資金の国際原油市場への無秩序な流入を規制する国際措置を求めること。
4. 漁業用燃油の安定供給を確保すること。

2008年7月15日

漁業経営危機突破 全国漁民大会

## 霞ヶ関・官庁街を力強くデモ行進!



33℃の炎天下、シュプレヒコールをあげながら霞ヶ関周辺を力強く行進しました。

同時に実施

## 全国漁船20万隻 一斉休漁!

また、当日はわが国水産史上初めての全国20万隻の漁船一斉休漁が実施され、本県でも全漁船（約1万隻）がこれに参加。燃油価格の暴騰により全国の漁業・漁村は、まさに息を止められようとしていると、危機的な状況を国民に強く訴えました。

この模様は新聞やテレビに大々的に取り上げられ、漁業者が単に燃油高に苦しむだけでなく、水産物の価格は流通側で決定されるという現実と、コスト高を容易に価格に転嫁できないという弱い立場に漁業者が置かれていることが指摘され、同時に国民の食料自給には、水産業の保護・振興が欠かせない旨の好意的な報道が相次ぎました。



ひっそりした港内 (JF明石浦)

# 漁業者緊急支援策の概要

## 燃油高騰水産業緊急対策に **745億円!**

7月28日に国の総額745億円という燃油高騰緊急対策の概要が発表されました。これについて、本県ではとくに省燃油実証事業を優先的に取り組むこととし、県、JF兵庫漁連ほか系統団体等で組織する「兵庫県省燃油実証事業検討協議会（会長：小松JF兵庫漁連会長）」を8月4日に立ち上げ、JF兵庫漁連内に対策室（通称「PT室」）を設置して、事業主体（漁協）の事務を支援することになりました。今後の事業実施や補助金の申請事務など具体的な対応が急がれるため、PT室が中心となって事務処理全般を指導することになっています。

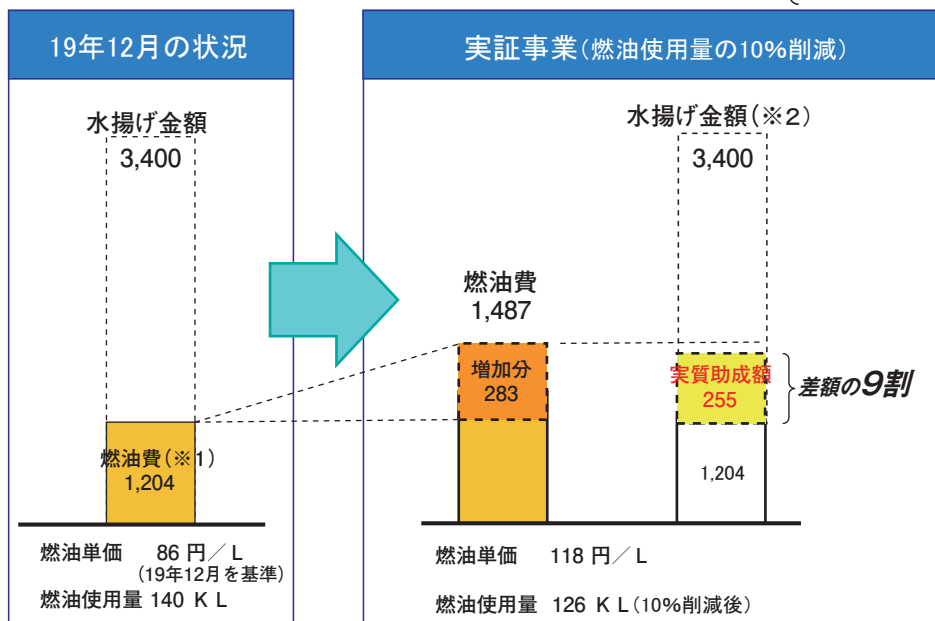
### 燃油高騰水産業緊急対策事業（骨子）

- ① 省燃油実証事業の創設（燃油費増加分に着目した実証事業の導入） .....80億円
  - ② 省エネ機器等導入の支援 ] .....200億円
  - ③ 省エネ操業の支援 ]
  - ④ 休漁・減船等支援対策 ] .....65億円
  - ⑤ 国際漁業対策 ]
  - ⑥ 流通の多様化等を通じた手取りの確保 .....400億円
- 以上、6項目の支援策に745億円が投入されることとなります。

この中で、柱となるのが①省燃油実証事業。5人以上の漁業者グループが操業の合理化によって燃油使用量を10%以上削減する実証事業に取り組む場合に、燃油費の増加分（19年12月を基準）の9割を国が負担するというもので、協議会では水産庁の実施要領に基づき、漁協からの事業計画策定を受け、全漁連に申請を行い助成金を受け取る仕組みです。まさに「7・15全国漁民大会」や「全国一斉休漁」が勝ち得た画期的な成果といえましょう。

### <事業の例>

〔金額：万円〕



(※1) 燃油費は、19年12月燃油価格(86円/L)と19年燃油使用量(140KL)により算出  
 (※2) 20年水揚げ金額は19年と同様と仮定

J Fグループ兵庫水産政策協議会

# 「船責法関連漁業被害救済の基金創設」など 8課題24項目を県に政策提案

平成 21 年度兵庫県水産政策推進に係る提案会で

業界からの政策提案を次年度の水産振興諸施策の参考に資することを目的に、8月1日（金）午後、県土地改良会館において県幹部とJFグループ兵庫水産政策協議会代表らが出席し、農林水産施策の推進に係る政策提案会が行われました。

この会は、県幹部と業界の代表者が業界からの政策要望をもとに袂を外して意見交換し、来期の県施策に生かしていこうというもので、毎年、この時期に開催されている。今年もJFグループ兵庫から水産政策協議会の小松漁連会長、秋武信漁連会長、吉岡共済組合長、山田内海漁保組合長、井上海づくり協会理事長ほか幹事会メンバー15名、また、県からは伍々農政環境部長、杉本農政企画局長、柳田農林水産技術総合センター次長をはじめ幹部職員20名が出席し、活発な意見交換が行われました。

冒頭、伍々部長から漁業は海峡事故、燃油高騰、魚価安、環境悪化など課題が山積しているが、本年4月から環境部局と一体で農林水の総合的施策に取り組むことや、沈没船からの油抜き取りに県も全力で対応することなど、最近の動きを含め政策提案へ大きな期待を寄せる旨挨拶があり、続いて水産政策協議会小松会長が、まず、3月の沈没船事故に関し被害救済支援や基金創設のこと、また、このたびの油抜き取り作業費用問題等々、県ご当局の重ねてのご支援、ご協力に心から感謝の意を表したあと、各団体長から政策提案要旨が説明され意見交換が行われました。議論は燃油高騰対策、明石海峡事故問題、森川海の再生プランや集落排水問題など広範に及び時間一杯に続けられ、杉本農政企画局長が今後の県施策に今日の意見を十分配慮してゆくとして、会議を締めくくりました。

## 平成21年度農林水産施策の推進に係る 政策提案項目

### 【提案1】海難事故対策について

- ① 明石海峡衝突事故による沈没船からの流出油によって、今漁期の安全操業が危惧される。「事故被害の発生源の除去を含む油止め対策」を国・県との協力のもと、早急に講じていただきたい。
- ② 特定航路周辺の海難事故による漁業被害対策を行うための基金を創設することを国に要請していただきたい。
- ③ 被害漁業者の負担軽減と効果的な促進を図るため、のり養殖特定共済における共済掛金の一部を助成していただくとともに、育苗期を共済期間に含むことを国へ要請していただきたい。

### 【提案2】経営改善のための金融制度について

- ① 「漁業経営維持安定資金」の制度拡充をお願いしたい。

- ② 「中小漁業関連資金融通円滑化事業（漁業・地域維持対策事業）」の活用を図ると共に、関係する市町に対して事業活用に向けた指導を行っていただきたい。

### 【提案3】消費拡大対策について

- ① 当会が兵庫ノリやチリメン等を学校給食に定期的に提供できるよう、給食予算に対する卸価格の超過額を助成する制度の創設など、一歩進んだ地産地消活動を推進していただきたい。
- ② JF兵庫漁連が検討している新たな兵庫のり販売会社の設立にあたって、支援と指導をいただきたい。
- ③ 県の農産物直販所活動支援事業により支援を受けて鮮魚直販を積極的に取り組んでいるが、今後の事業拡大を目指して仕入センターの設置を検討しているので、これに対するご助言をいただくとともに、実施の際には施設整備にかかる補助をお願いしたい。
- ④ 県当局よりご支援をいただいた新水産会館には、魚食普

及のための施設を整備することとしており、学生や一般県民を対象とした魚食普及講習会等を積極的に開催する計画としているので、これに対するご支援をいただきたい。

#### 【提案4】 魚価向上対策について

漁業が産業として自立していくためには、漁業者自らが価格を形成する仕組みづくりが必要と考えるので、これの調査研究のための検討会へのご参画とご支援をいただきたい。

#### 【提案5】 栽培漁業の推進について

- ①栽培漁業センターの老朽化に備え、継続的な施設の修繕、設備機器の更新を進めていただきたい。
- ②ズワイガニ等の魚種の量産技術の開発及び種苗生産に引き続き取り組んでいただきたい。
- ③キジハタやオコゼなどの高級魚を大量に安定して生産できる体制を整備していただきたい。

#### 【提案6】 燃油高騰対策について

- ①全国漁民大会での「燃油価格暴騰対策に関する決議」について、県からも国へ協力を働きかけていただきたい。
- ②航空料金のようなサーチャージシステムが水産物についても導入できる仕組みづくりについて、我々と共に検討いただき、導入に際しては関係機関に対して要請をお願いしたい。
- ③船底の清掃、防汚材の塗布等について、すべての漁船が積極的に実施できるよう助成制度を創設していただきたい。
- ④発泡スチロールの魚箱など石油製品の値上がりが見られる状況のもと、但馬地区の鮮魚共販において、間伐材等を活用した魚箱の利用をより一層進めたいので、これに係る助成制度を創設していただきたい。

#### 【提案7】 漁場再生に向けて

県における機構改革によって農政環境部が創設され、農林水産行政ならびに環境行政を一体的に行う機関として、第一次産業と自然環境との調和のとれた施策を目指されているところであるが、次の事項の実現に向けて積極的に取り組んでいただきたい。

- ①瀬戸内海再生法（仮称）の早急な制定を引き続き国へ働きかけていただきたい。
- ②平成19年度に実施された加古川水系ダムからの放水試験では一定の効果が見られたため、引き続き河川水放流試験（加古川、千種川、揖保川など）の実施拡大に取り組んでいただきたい。
- ③ノリや魚介類にとって豊かな水域環境を確保するため、“漁業用水”の必要性を認識いただくとともに、関係市町と連携の上、栄養のある水が陸域より効果的かつ継続的に海へ供給できるように施策を講じていただきたい。
- ④下水処理における残留塩素は海域環境に大きな影響を及ぼすと考えられることから、関係市町に対してこの改善に向けた指導をいただきたい。
- ⑤兵庫県ノリ漁場環境予測モデル検討委員会で提言された干潟、浅場の造成と二枚貝の増殖や施肥等のノリの色落ち対策について引き続き積極的に取り組んでいただきたい。
- ⑥漁場調査や品種改良を実施しているのり研究所に対し支援をいただきたい。

#### 【提案8】 漂流・漂着ゴミ対策について

災害時以外の場合において、漁業者が漁業作業時に回収する日常の漂流・漂着ゴミの処理について、国、県の責任を持った対応をしていただきたい。



県への政策提案会（写真提供：県総合農政課）

# 各団体の動き

各地区の青壮年部、女性部など、各団体の総会が相次いで開催されていますので、概要を紹介します。

## 県機船底曳網漁業協会、総会を開催（7月2日）

### 燃油暴騰で経営不安ピークに…

### 韓国漁船が我が国EEZ内で悪質操業など課題山積

明けても暮れても燃油暴騰の悩みばかり・・・と苦しい漁業経営を余儀なくされている漁業界。そんな中、資源回復の計画的取り組みや自主調整、日韓漁業操業協定の効果、良好な海洋環境に恵まれ、数量で125%、金額で107%と前年を上回る実績を確保した但馬地域の沖合底曳網漁業。その船主を会員とする兵庫県機船底曳網漁業協会の総会が7月2日JF但馬会議室で開催され、JF但馬（柴山）光春丸小林船長を議長に選任し、19年度事業並びに収支決算報告、20年度事業計画等が何れも原案通り承認されました。また、総会審議に先立ち、（社）全国底曳き網漁連の永年勤続乗組員表彰が行われ、受賞者3名を代表して、JF但馬（津居山）所属「吉野丸」吉野光智船長に今村会長から賞状が授与されました。

総会では冒頭、吉岡会長が「漁業は危急存亡のとき。自助努力の限界を超えた燃油高騰に政府の差額補填を訴え、6月4日鳥取、島根と3県協議会で国会陳情を実施。また、7月1日には自民党本部で日本海漁業協議会（19漁連）が燃油高騰対策に係る緊急要請会を開催し、谷垣政調会長、若林農林水産大臣はじめ100人からの出席の衆参国會議員に対策を要望しました。党も政府も窮状打開に向け施策努力を約束され、参議院の青木先生から“激甚災害と認識し早急に対策を”や出席の先生方からも力強い発言が続き、いい感触をもった。」と、国の英断に期待を示しました。また、「何れにしても我々は誇りを持って漁業を続けたい。底曳網漁業の安定継続をめざし一致団結して頑張ろう。」と結束を訴えました。

来賓の日村豊彦、上田良介両県会議員は「危機的



状況の打開に議会の立場から全力を尽くす」と挨拶され、また、廣野水産庁沿岸沖合課長補佐、谷口但馬県民局長、今村全底連会長、小松JF兵庫漁連会長が各々の立場から来賓挨拶されました。

とくに小松会長から、3月の明石海峡での沈没船燃料油流出事故で、但馬の皆さんから力強いご支援を頂いたことに感謝を述べたあと、燃油暴騰に抗議して、7月15日東京で3千人規模の抗議大会を開くことや、同日に全国総ての漁業者が一斉休業の実施を呼びかけていることなど、中央情勢が報告されました。

また、総会のあと系統懇談会が開催され、出席の県系統団体代表と2漁協5地区の沖底代表者が燃油の安定供給、経営資金の緊急融資、制度資金の償還延長などを話題に懇談。既成概念にとらわれず個々の経営再建を第一義に支援を求めることや、経営改善には厳しい自己努力が前提など、但馬の漁業振興について熱心な議論が行われました。

県内海漁船保険組合、事務研修会を開催（7月8日）

# 漁業者とともに歩んだ70年 PB(プレジャーボート)責任保険推進で負担軽減めざす

30数年前から毎年欠かさずことなく実施され、7月の恒例行事となっている兵庫県内海漁船保険組合の事務研修会が、今年も神戸市北区有馬町のホテルで開催され、瀬戸内海地区49 J F 並びに関係団体等から役職員140余名が出席し、「東南海・南海地震への備え」などについて研修を受けました。

冒頭、主催者の山田隆義漁船保険組合長から「明石海峡油流出事故や燃油高騰などで漁業は深刻な経営危機にある。当組合は漁業者が弱体化したら成り立たないし、存在の意義を失うことになるので、少しでも加入者の負担軽減に繋がればと運営コスト削減や、海からの収益を陸に求めようと、プレジャーボートを対象にPB責任保険の加入推進に努めてきた。皆さんのご協力で全国第1位の実績をあげることができた。組合運営でも常に全国上位の実績にあり、感謝に堪えない。今年は創立70周年記念事業を予定していたが、浜の厳しい環境をふまえ、祝賀会は控え、漁業者や漁協に少しでも利益還元することに努めた」と挨拶があった。

また、山村県水産課長、秋武 J F 兵庫信漁連会長、山内全国漁船保険中央会長が来賓を代表して挨拶の後、水産庁・中央会から優良役職員等表伝達式が行われ、個人20名と1組合が栄誉を受けられました。

今回の研修は2部制で行われ、第1部は職員向けに総合的な保険事務処理につ

いて、第2部は組合長ほか役職員全員を対象に「東南海・南海地震への備え～直下型地震と海溝型地震～」と題して、県防災企画局防災計画課・陰山主査から、地震が発生する仕組みや東南海地震の想定震源域、津波発生の原理など分かり易く講義され、南海地震発生の確率は高く危機管理意識を高めるよう訴えられた。この研修会の出席者は何れも阪神淡路大震災を体験しており、特に東南海・南海地震は津波被害も想定され、漁船や漁業施設への影響も大きいと考えられるので、講師の予測データの説明などを熱心に傾聴していました。

なお、この研修会では、岡本漁保組合専務から19年度事業報告並びに20年度事業計画の概要説明も併せて行われた。これは、同組合は漁船所有者＝組合員であり最高意志決定機関は総代会となっているため、最大の協力者である漁協や役員に、直接、毎事業年度の活動実績などを報告する機会がなく、この場を利用して詳細説明されているものです。



## 行事予定

### ● JF兵庫漁連

- 8月22日(金) 3団体合同臨時総会(大会議室)  
監事会(小会議室)
- 26日(火) のり養殖技術研修会(水産技術センター)
- 28日(木) 理事会(中会議室)

### ● JF信漁連

- 8月22日(金) 3団体合同臨時総会(大会議室)  
理事会(中会議室)

### ● JFぎょさい兵庫

- 8月22日(金) 3団体合同臨時総会(大会議室)

### ● 兵庫県漁港協会

- 8月26日(火) 通常総会(南あわじ市)  
兵庫県漁港大会(南あわじ市)

### ● 兵庫県内海漁船保険組合

- 8月28日(木) 役員・総代研修会並びに海上安全祈願祭  
(明治神宮)

### ● 兵庫県水産振興基金

- 8月26日(火) 大輪田塾修了論文発表会(中会議室)

### ● その他

- 8月25日(月) 海区漁業調整委員会(県民会館)
- 9月 7日(日) 第28回全国豊かな海づくり大会(新潟市)



## 兵庫県燃油高騰水産業緊急対策のスケジュール

8月11日付で出された「小規模漁業構造改革促進対策事業（省エネ促進）について（水産庁長官通達）」の一部改正連絡を受けて、兵庫県省燃油実証事業検討協議会（会長：小松司県漁連会長）は8月12日、水産会館において緊急会議を開き、今後の対応と事務スケジュールなどを検討・確認しました。

今回の燃油高騰緊急対策の核となるのは、A重油や軽油などの燃油の直接補填ではなく、燃油費増加による漁

業所得減少分の補填ですが、実際にこれを受け入れるためには「省エネ型操業転換計画認定」や「省燃油操業実証事業実施計画策定」などの書類作成に、膨大な事務作業が必要となります。

申請時期には第1次、第2次の2段階が用意されており、この作業を円滑に進めるため、JF県漁連内のPT室が各漁協で行っていただく実務の相談や指導にあたっています。(TEL. 078-652-3447)

日付	内容
8月29日(金)	第1次申請締切（県段階） ・省エネ促進協議会設置承認申請書 ・省エネ型操業転換計画認定申請書 ・省燃油操業実証事業実施計画承認申請書
9月 8日(月)	兵庫県省燃油実証事業検討協議会にて実施計画書を審査
9月 9日(火)	JF全漁連へ提出
9月10日(水)	JFグループ（全国段階）第1次申請締切
9月19日(金)	第2次申請締切（県段階） ・省エネ促進協議会設置承認申請書 ・省エネ型操業転換計画認定申請書 ・省燃油操業実証事業実施計画承認申請書
9月26日(金)	兵庫県省燃油実証事業検討協議会にて実施計画書を審査
9月29日(月)	JF全漁連へ提出
9月30日(火)	JFグループ（全国段階）第2次申請締切

## 第6回 JFマリンバンク全国大会

JF全漁連、農林中央金庫主催の「第6回JFマリンバンク全国大会」が7月14日、東京・台場のホテル日航東京で開かれました。

大会第1部では、農林中央金庫・上野理事長、JF全漁連・服部会長、山田水産庁長官の挨拶の後、農林中金の泉沢水産部長がJFマリンバンクの「2つの守るべきもの～浜の金融の『信頼』と『ネットワーク』の維持」と題し基調報告を行い、北海道JF根室とJF長崎県女性連が代表して意見発表を行いました。続いて、第2部では本県の山田隆義氏（JF神戸市）、社領弘氏（JF一宮町）をはじめ全国の貯蓄推進委員54人と11のJF女性部に対して感謝状の贈呈が行われ、永年の功労が讃えられました。

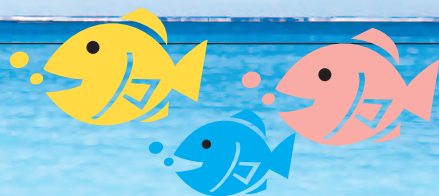
その後、大会宣言が採択されたのち、東京海洋大学

客員准教授でお魚らいふ・コーディネーターのさかなクンによる記念講演などが行われました。



さかなクンを囲んで・貯蓄推進功績者のみなさん

# 魚食普及活動のページ



水産物の消費拡大を図るため、料理講習会などが活発に開催されています。とくにこの季節は「海」「魚」「漁業」をテーマに体験学習や交流行事も多く、そのようなイベントとミックスした楽しい企画も目白押し。各地区では、浜の母ちゃんや兄ちゃんたちが自慢の腕を発揮して、水産物のPRと「漁業の応援団づくり」に大活躍しています。

## 【村岡いずみ会のみなさんと】 但馬漁協柴山女性部

7月8日、香美町の村岡区民センターにおいて村岡いずみ会のみなさんと20名で、イカやハタハタなど柴山港で水揚げされた食材を使っただけのから揚げなど8品目のメニューに挑戦。農村地区の奥さんたちは「これからは、家庭でも作ってみたい」と、とても好評でした。



農家の奥さんとの交流会



新鮮なイカをふんだんに

## 【あかし花の会のみなさんと】 明石市漁協女性部連合会

7月9日、「あかし花の会」のみなさんとJAあかしの調理室を使って、料理講習を兼ねた交流会を開催。鯛の酒蒸しや、特産のタイラギを使った貝柱のバター焼きが大好評でした。参加者は34名。



笑顔あふれる交流会



鯛のさばき方はこうやって・・・

## 【ふるさと青年協力隊のみなさんと】 浜坂町漁協女性部

7月11日、毎年、新温泉町へボランティア活動に来られる「ふるさと青年協力隊」20名の皆さんと、浜坂ならではのホタルイカなどをふんだんに使った料理で交流しました。調理場では韓国、ギリシャ、ベトナムから来られた3名が大活躍。ことにギリシャのハリスさんは、ハタハタの南蛮漬けを頼ばって、とてもお気に入りのようでした。



外国の方も調理に参加



楽しい交流会

## 【家島で漁師になろう！】農林水産体験ファーム

平成20年度農林水産体験ファーム「家島で漁師になろう！」が、7月24日～26日の2泊3日の日程で家島諸島の男鹿島を舞台に繰り広げられました。県子ども会連合会の募集により、神戸・阪神間などから訪れた小中学生43名が地曳き網などの漁業体験や調理実習に挑戦。ピチピチ跳ねる魚に大歓声を上げるなど、子供たちのエネルギーに、世話をする中村有作さん、森謙太さんたち漁師のお兄さんは終始圧倒されていました。海や魚の良さを体験し、漁業の応援団が1人でも多く育てて欲しいものです。



大物をゲット！



魚の調理体験

## 【プロの栄養士さんも再認識】

JF兵庫漁連 魚食推進室

7月25日、(社)兵庫県食生活改善協会所属の栄養士さん約20名を対象に、7月25日、明石の魚についての学習会と、明石のアジやカレイ、生きたタコを使った料理実習が行われました。JF兵庫漁連の魚食推進室は、一般消費者や小中学生だけでなくプロの皆さんへの魚食普及活動にも大忙しの毎日です。



山崎室長の包丁さばきに視線が

## 【パパと子の魚料理教室】

JF 伊保漁協女性部

7月26日、高砂福祉会館で浜のかあちゃんの指導のもと、ちょっと風変わりな料理教室が開かれました。ふだん台所に縁の薄いお父さん、お爺さんたちと小学生のペア30名が対象です。お父さんたちはいつもと勝手がちがいで、笑い声と歓声の中、シーフードカレーづくりなどに挑みました。



お父さん・お爺さんも参加

## 【山の中でも魚食普及活動が！】

県立内水面漁業センター

朝来(あさご)市の県立内水面漁業センターには、年間約3000人が見学や体験学習に訪れます。中でも清流での「アマゴのつかみどり」や、自分で内蔵を出して串にさし、炭火で焼く「塩焼き体験」が一番の人気コースです。ふだん魚を食べるのが苦手な子ども、焼きたてのアマゴに「おかわりっ！」を連発。みどり豊かな自然の中で、ワイワイと体験する「楽しかった！」「おいしかったア！」思い出は、きっと生涯の宝物になるでしょう。

このように内水面の分野でも、子どもたちを将来の消費者予備軍ととらえ、魚食普及活動が行われています。



溪流魚のつかみ取りに大歓声

0 絵画・作文

# ひょうご海の子作品展

県下の小・中学生の皆さんに海を愛し、美しく豊かな海を守る事の大切さや、漁業に対する関心と理解を高めてもらうため、「絵画」と「作文」を募集しています。

あなたの目から見た、漁業や漁師さんの事、漁港や市場の様子、そして海の様子など、「漁業」や「海」を自由な発想で表現してみませんか？  
たくさんのご応募をお待ちしています。

**応募者全員に  
記念品を贈呈します！**

- 兵庫県知事賞 …… 全作品の中より1点
- 兵庫県教育長賞 …… 同上
- JF兵庫漁連会長賞 …… 小学校低学年・小学校高学年・中学校より各1点ずつ計3点
- JF兵庫女性連会長賞 …… 同上
- JF兵庫信漁連会長賞 …… 全作品の中より2点
- 佳作 …… 全作品の中より20点 (予定)

絵画・作文部門  
各30点ずつ (予定) …… ※絵画部門入賞作品については、年末に神戸市内に展示し、その後上位10作品は、全国海の子絵画展に出展します。  
※作文部門入賞作品については、「海の子作文集」を作成する予定です11 pt※審査の結果は平成21年1月に各学校へお知らせします。

入賞

## 応募方法

募集対象 …… 県下の小・中学生

募集作品 …… 絵画と作文の二部門

● 絵画 …… 作品の大きさは60cm×45cm以内

● 作文 …… 400字詰め原稿用紙2~3枚

※本人の直筆でない作品については、審査対象外としますのでご注意ください。

※作品はこれまでどこにも応募していないもので、各部門一人1点まで応募可能です。

※応募作品はお返しいたしません。(応募作品の著作権はすべて主催者側に帰属するものとします。)

題 材 …… 「漁業」や「海」

応募締切 …… **平成20年9月30日 (火)**

作品提出 …… 作品は、通っている学校に提出してください。  
※作品の裏面右下に必ず、応募表を貼ってください。

## 【お問い合わせ先】

JF 兵庫信漁連

[営業部企画推進課：担当立田 (たつた)]

〒652-0844 神戸市兵庫区中之島 2-2-1

TEL (078) 681-8185・FAX (078) 651-5962

【主催】 JF 兵庫漁連・JF 兵庫女性連

【後援】 兵庫県・兵庫県教育委員会・JF 兵庫信漁連・  
財兵庫県水産振興基金

## お魚調理 ワンポイントアドバイス

### 魚を切る包丁について

魚を調理をする時に、いろいろな種類の包丁が必要になります。もちろん切れれば、その役割が果たせるのですが、単に切れればよいというのではなく、魚の大きさ、部位の硬さや、素材としての使い方によって、包丁を変えたほうが、より効率的な調理が行なえ、見た目の綺麗さと、切り面から味にも差が出るのです。

#### 出刃包丁：

自分の手になじむ寸法、重さを選ぶことが大事です。魚に合わせて、刃渡り・重みが必要な場合もあります。

#### 刺身包丁 (柳ともいう)：

刃渡り21~27cmが平均的です。長いほど一気に切れるので、仕上がりが美しいですが、慣れないと使いにくいものです。

家庭で調理をするには、刃渡り10cm程度の薄小出刃、15cm程度の出刃包丁、20cm程度の刺身包丁と3種 (本) あれば一通り対応出来て、困ることはありません。アナゴなどを開いたり、骨切りなど特殊な作業も、専用品を使う必要はなく、慣れればどのような使い方も出来ます。

魚屋さんの中には、刺身包丁1本で、ほとんどの調理をこなしている人もいるくらいですが、そこまで慣れる必要はありません。



兵庫県漁業協同組合連合会  
流通加工事業本部 魚食推進室 山 寄 清 張

# 「ねんきん特別便」

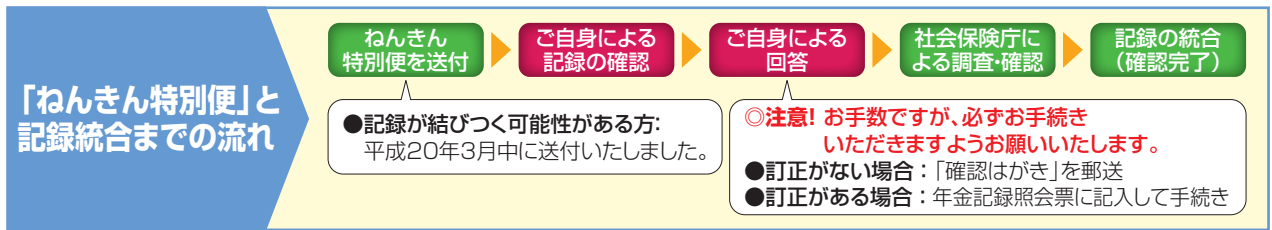
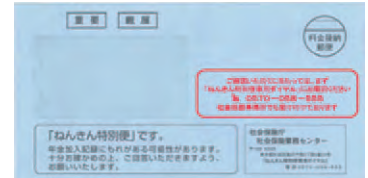
# ご確認を!

社会保険庁では、年金記録問題について平成20年3月までに「5,000万件の未統合記録」と「年金受給者3,000万人、加入者7,000万人」の記録をコンピュータ上で突き合わせを行い、年金受給者と現役加入者の方々に「ねんきん特別便」を送付し年金記録の確認を行っています。

## 「ねんきん特別便」の封筒の色に注意!

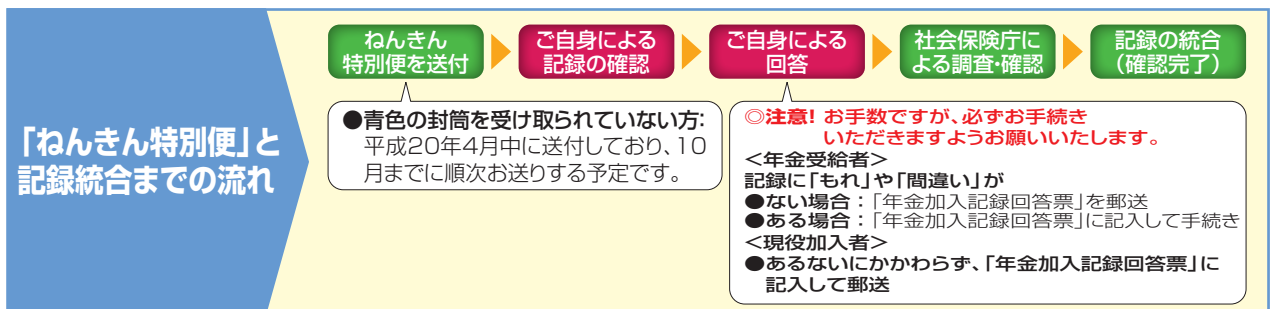
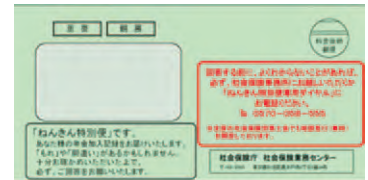
### ○本年3月までに青色の特別便を受け取られた方

年金記録にもれがある可能性が高い年金受給者・加入者です。お勤め先などの欄に記載もれがないか、資格取得年月日・資格喪失年月日の誤りがないかなどを十分にご確認ください。また、もれている可能性のある記録については、「ねんきん特別便専用ダイヤル(0570-058-555)」または、お近くの社会保険事務所まで必ずご連絡下さい。



### ○本年4月以降に緑色の特別便を受け取られた方

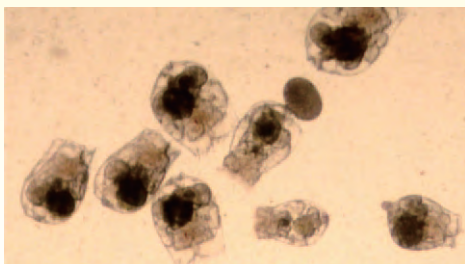
3月までに特別便を受け取られた方以外の年金受給者・加入者お勤め先などの欄に記載もれがないか、また、資格取得年月日・資格喪失年月日の誤りがないかなどを十分にご確認ください。



年金のお受取は、JFマリンバンク窓口にご相談ください

## お魚バブバブ Quiz

今回は番外編です。  
これは一体何でしょう?



写真提供: (財) ひょうご豊かな海づくり協会

養殖や栽培漁業になくてはならない仔魚期の餌料生物をご紹介します。生まれたての魚は、遊泳力が弱く口も小さいので食べられるものが限られます。人工的な環境で魚類を育成するには、その口に合った餌とその密度が重要なのです。

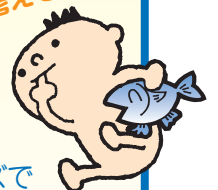
ヒント

- ① 生息環境や見た目が名前の由来になっているようです。
- ② 植物プランクトンや酵母を餌にしている動物プランクトンです。
- ③ L型とS型があり、仔魚の口のサイズで使い分ける事もあります。

配合飼料が摂食できる大きさになるまでは、餌料生物のお世話になります。

答えは、14 ページの下部に掲載しています。

みんなも考えてみよう!



## 畜産農家から消費者のみなさんへ 「国産を届けたい！」



国産の消費拡大を訴えるJAたじま・田口義修組合長

配合飼料価格が2年前に比べ約5割以上も上昇するなど国産畜産農家が置かれている厳しい状況や、国産畜産物の消費拡大・価格転嫁への理解を広く消費者に呼び掛けることを目的に、6月7日、東海から沖縄までの畜産農家および関係者（JA、全農グループなど）約300人が大阪・万博記念公園に集結し、国産畜産物試食交流会を実施しました。

メイン会場の万博公園中央イベント広場では、ノルディックスキー複合元五輪代表・荻原次晴氏が応援団長として、「自分も長くスポーツをやってきて、あきらめないことを苦しみから学びました。厳しいですがみなさん頑張りましょう」と畜産農家へエールを送りました。

また、JAたじま・田口義修組合長（6月7日時点）は「国産品を多く食べることで応援してほしい」と訴え、約200人が大阪・神戸・京都の19ポイントに移動し、畜産農家の現状と消費拡大の願いを記したポケットティッシュとチラシを配布しました。

当日は好天にも恵まれ人出が盛況で、中央イベント広場では用意した1000食が2時間あまりで完食。また、舌鼓を打つ来場者の間で、畜産農家おいしい肉や家畜を飼う秘訣などを話して回るなど、消費者との交流が行われました。

<http://www.zenchu-ja.org/>

## 第58回通常総会を開催 コミュニティネットワークの構築 ～協同が息づく兵庫のまちづくり～



6月18日（水）兵庫県民会館において  
兵庫県生協連第58回通常総会を開催しました。

6月18日（水）、兵庫県民会館において兵庫県生協連第58回通常総会を開催しました。

代議員37名中、36名が出席（実出席28名、委任出席1名、書面議決7名）し、07年度活動報告、08年度活動計画（案）など6つの議案について審議し、全議案が満場一致で可決されました。

当日は、兵庫県生協連 寺尾理事（大学生協神戸事業連合 専務理事）の司会ではじまり、冒頭、浅田会長理事が挨拶を行いました。続いて、来賓を代表して兵庫県企画県民部政策担当部長・塚本隆文様、神戸市市民参画推進局市民生活部部长・大賀隆夫様、兵庫県漁業協同組合連合会専務理事・山口徹夫様、日本生協連関西地連事務局長・金子隆之様からそれぞれ大会の盛会と今後の発展を祈念したご祝辞をいただきました。

総会では、まず、第3号議案役員選挙の件、続いて第1号議案07年度活動報告ならびに決算報告及び剰余金処分案承認の件、第2号議案08年度活動計画案ならびに収支計画決定の件について提案が行なわれました。また、地域、医療、大学、共済生協それぞれの分野から、会員生協の07年度活動報告が行われました。その後、審議に入り、第1号議案から第6号議案まで全議案が満場一致で可決・承認されました。

役員選挙の結果、理事に（敬称略）加賀晴彦（兵庫県学校生協 常勤理事）、濱田明（神戸市民生協 専務理事）、高橋秀行（関西学院大学生協 専務理事）嶋田輝男（近畿労働金庫兵庫県本部 本部長）、監事に本上博一（姫路市民共済生協 理事長）、谷川文秋（姫路医療生協 専務理事）、大西憲慈（コープこうべ 常勤理事）の各氏が新たに就任されました。

<http://www.co-op.or.jp/jccu/>

# 大輪田塾だより

## 1. 県内宿泊研修

7月の大輪田塾は、29～30日の2日間、宿泊研修が但馬地区で実施されました。

沖合底曳漁船、ベにずわいかにかご漁船、栽培漁業センターにJF但馬の水産加工場と直販施設を見学し、「但馬の漁業について」と題して但馬水産事務所 長島課長、「海は何もいわないけれど～海の世界と生物～」と題して但馬栽培技術センター 玉木研究員、「漁協の加工直販事業について」と題してJF但馬 島崎直販加工部長による講義が行われ、漁協直販施設の更なる活性化について、また特に播磨、淡路地区の塾生は内海側との漁業形態の違いや、それに基づくアイデア提案など、大いに議論に華を咲かせ、有意義な2日間の研修でした。



## 2. お知らせ

### ①修了論文発表会

第2期生の修了論文発表会を以下の日程で開催します。

日時：平成20年8月26日(火) 13:30～

場所：兵庫県水産会館 4F 中会議室

### ②第4期生の募集

かつてない厳しい環境下におかれた兵庫県の漁業。大輪田塾ではこのような困難な状況を克服し、業界をリード出来る若手漁業者の育成をめざして第4期生を募集中です。

募集要領の詳細は各組合に通知しています。

9月上旬に募集を締切、その後、面接試験、審査委員会での選考を経て、10月上旬に第4期生として入塾式を行います。

### 【問合せ先】

〒652-0844

神戸市兵庫区中之島2-2-1

(財)兵庫県水産振興基金

TEL 078-681-3789

FAX 078-651-4687

## 旬に想う

写真と文  
遊方子

## 地名散歩

◆兵庫運河沿いを散歩した。日差しは夏の夕刻を告げて、川面に朱色が滲む。『日和下駄』を書いた永井荷風は、散歩を思索の対象としたが、都市生活者のささやかで密かな楽しみに散歩するのも悪くあるまい。これまで歩いたことのない裏通り、路地裏、盛り場や場末の細道などを漫然と歩く。厳密には散歩でなく町歩きと言うべきだろうが、思索を巡らしつつ未知の所を遊歩するのは、地名を知る楽しみに加え、何よりも健康にいい。豪商神田兵衛門らの築造した兵庫運河は、かつて多くの船舶が行き交ったという。今、歴史資源として見直され周辺も整備されて、地域活性の取り組みが始まっている。

◆新しく開発した住宅地は、似通った地名になるようで、青葉台・緑が丘・朝日が丘などが、あちこち目につく。緑や陽あたりを渴望している証しなのだろうが、台とか丘には独特の響きがあって、素晴らしく眺めの良い環境を思い描いて仕舞う。入り組んだ谷間には「地獄谷」や「念仏谷」という地名が多いが、そこを埋立てた造成地を同じ呼び名では人も寄りつき難いから、響きの良い名に変えて当然であろう。新しい地名にしても、同じような名前の氾濫では、地名が記号に過ぎない感じがして、地名とは何だと思ったりする。

◆五万分の一地形図の山深い所に「菖蒲谷」という地名を見つ

け、きつと野生のハナショウブの里だとイメージを膨らませた。実際に訪ねると、意外や其処は大型マーケットを中心にした小都会になっており、地名だけが従前のまま残った感じで、がっかりしたことがある。また、数年前に遊んだ山村も、思わぬ変化に驚かされた。谷から谷へ巨大な橋桁がかかり、屋根が平らに均され長く広い道路が出来ていた。点在した農家は消え去り、田畑は広い駐車場となり、ずらりと乗用車が並んでいる。桑田変じて碧海となる譬えを見るようで、辺鄙な土地ほど変化が際だっているようだ。

◆平成の大合併で3200余もあった市町村が1822になったという。「合併特例法」が財政難の立て直しの特効薬になるのかどうか。新市町村名が決まり、由緒ある名が消え去った所も少なくない。合併で無くなる地名を守れと、住民の声が挙がったりしている。龍野市はひらがな表記にして他町を吸収した印象を薄めるといのが、事情は分からぬでもない。地名に関心を持つと、バス停の標識や周辺の看板にも目が走り、それが新しい発見に繋がり楽しみが増える。地名は、伝説や先人の深い思い入れから生み出されたものが多い。後世に残すべき文化的な遺産とも言える。大切にしたいものである。



# 知る人ぞ知るアサリの宝庫

## リピーターを生み出す潮干狩り場の魅力

### ウチの 漁協!

ここ

No.58

## JF 苅屋



富嶋神社



江戸時代末期に干拓された「成山新田」が播磨灘にせり出すように広がり、海の青と農地の緑のコントラストが大変美しいたつの市御津町苅屋は、揖保川の下流域にあたる中川に面した、自然あふれる地域です。早くからノリ養殖を中心とした漁業が発達した地域です

が、同時に、広大な畑地が広がる「成山新田」において、大根・にんじん・さつまいもなどが栽培されており、農業に対しても大変力を入れて取り組まれています。このような町の特徴を生かし、JF苅屋の組合員の多くは、漁業と農業をうまく組み合わせ、半農半漁のスタイルを取っています。町にある立派な「富嶋神社」は、漁業にまつわる神社であり、毎年、漁師の方が中心となって執り行われる祭りは、50年間続く町の伝統行事です。地元の人々にぎわいを見せるこの祭りが、苅屋の漁業の歴史の深さ、伝統の重みを現在に伝えているのです。

さて、前回のJF大津のご紹介でも触れましたが、姫路市の西隣に位置するたつの市のJF苅屋もまた、早くからノリ養殖を営んできた「兵庫県ノリ養殖始まりの地」の一つです。

終戦直後よりノリ養殖を始めたJF苅屋では、最盛期の1960年～70年代には、全体の9割近くは組合員がノリ養殖に携わっていたといいます。中川という大きな川がそばを流れ、ノリ養殖に適した環境で

あったこと、また、当時ノリが高値で取引されていたことなどにより、JF苅屋の漁業はノリ養殖を主力に活気づいていました。しかし、現在は環境の悪化、組合員の減少などにより、ノリ養殖に携わる組合員は数名しか残っていない状態です。

そんなJF苅屋の現在の主軸漁は、ノリ養殖からシフトした定置網漁です。ノリ養殖のみならず、定置網漁もまた、JF苅屋の操業時から行われていた伝統ある漁法です。現在は、魚が豊富だった頃に比べると獲れる魚の数は減りましたが、チヌやカレイ、車エビなど、活きのいい魚が水揚げされています。この定置網漁のほかにも、アナゴの籠漁なども行われていますが、JF苅屋の最大の特徴は、春先にオープンする組合管理の潮干狩り場にあります。

苅屋のアサリは、身の入りが良いう

に柔らかいと評判が良

く、潮干狩りには年間2000人もの方が訪れるといわれています。リピーターが多く、京都や大阪などの遠方から足を運ぶお客さんがいることも特徴です。驚くことに、JF苅屋では積極的に潮干狩り場の宣伝はしていませんが、お客さんの大半は、口コミで集まっているそうです。いかに苅屋のアサリが



おいしいか…。それは語らずとも、何度も訪れるファンがいるという事実が何よりの証拠ではないでしょうか？

また、こうした潮干狩り場でのアサリの乱獲が問題となることが多いなか、苅屋のアサリは昔と変わることなく、豊富に取れるといえます。これは、岸から少し離れた場所にアサリがいるため、海水面が相当低くなる引き潮の時しかアサリを獲ることができない地形に秘密があります。こうした苅屋の恵まれた地形が、おいしいアサリを育てているといっても過言ではないでしょう。魚やノリの水揚げ減少、組合員の減少と問題は少なくありませんが、良質のアサリを育む自然の干潟が残っていることがJF苅屋の大きな財産です。こうした宝を守り、多くの方が楽しみにされている苅屋での潮干狩りを、今後も守り、育てていただきたいと思います。



成山新田

### < 漁協メモ >

苅屋漁業協同組合  
代表理事組合長 濱本 良一  
組合設立日 昭和24年10月5日  
組合員数 正組合員23名 准組合員9名/計32名